

2024年8月26日

報道関係者 各位

ソニー損害保険株式会社

～2024年 全国カーライフ実態調査～

ソニー損害保険株式会社（代表取締役社長：坪田 博行、本社：東京都大田区、以下「ソニー損保」）は、2024年7月12日～7月16日の5日間、自家用車を所有し、月に1回以上車を運転する18歳～59歳の男女に対し、「全国カーライフ実態調査」をインターネットリサーチで実施し、1,000名の有効回答を得ました。

【運転実態と車の維持費】

1ヵ月あたりの車の維持費は平均13,900円、4年連続で増加
ドライバーが負担に感じる諸経費 1位「ガソリン代・燃料代」、2位「自動車税」
ガソリン代・燃料代の節約方法TOP3 「セルフ式ガソリンスタンドで給油する」
「急発進・急停車をしない」「適度にエンジンオイルを交換する」

【今乗っている車・次に購入したい車】

今乗っている車 1位「軽自動車」、2位「コンパクトカー」、3位「ミニバン」
10代・20代女性では「軽自動車」が半数以上
今乗っている車のエンジン・モーターのタイプ 「ハイブリッド自動車」が4人に1人
次に車を買替える時に購入したい車 1位「N-BOX（ホンダ）」、2位「プリウス（トヨタ）」、
「ルーミー（トヨタ）」が大幅上昇し3位に

【自動車事故に関する意識】

車を運転していて恐怖を感じる事 1位「あおり運転による事故」、
2位「高齢者・高齢運転者との事故」、3位「ブレーキとアクセルの踏み間違いによる事故」

【自然災害による車への損害に関する意識・経験】

「自然災害によって車に損害が生じたことがある」22.3%
車に損害が生じた自然災害 1位「台風」、2位「大雨・ゲリラ豪雨」、3位「洪水」「大雪」
「車を自然災害から守るための対策を講じている」22.9%
走行している道路の前方が冠水していて深さがわからない場合の行動
「進入せずにすぐに引き返す」60.6%、10代・20代では「わからない」が18.0%

【交通規則違反に関する認知】

交通規則違反だと知っていたもの 「信号待ちのタイミングで運転手を交代する」26.0%

【安全運転支援機能／ドライブレコーダー選び】

安全運転支援機能の搭載状況
「ドライブレコーダー」の搭載率は51.9%
「定速走行・車間距離制御装置/ACC」の搭載率は31.6%、昨年調査から3.4ポイント上昇
ドライブレコーダー選びで重視した点 1位「価格」、2位「画質が良い」
今乗っている車に付いているドライブレコーダーの価格 平均は26,576円

【カーライフ×エンタメ】

交通安全運動のPRのために一日警察署長をやってほしいと思う芸能人
男性芸能人 1位「明石家さんまさん」「目黒蓮さん」、3位「なかやまきんに君」、
女性芸能人 1位「橋本環奈さん」、2位「綾瀬はるかさん」、3位「天海祐希さん」
交通安全運動のPRのために一日警察署長をやってほしいと思うアスリート
男性アスリートでは「大谷翔平さん」がダントツ、2位「石川祐希さん」「イチローさん」、
女性アスリート 1位「吉田沙保里さん」、2位「浅田真央さん」、3位「石川佳純さん」

アンケート総括

【運転実態と車の維持費】

◆1ヵ月あたりの車の維持費は平均13,900円、4年連続で増加

◆ドライバーが負担に感じる諸経費 1位「ガソリン代・燃料代」、2位「自動車税」

自家用車を所有し、月に1回以上車を運転する18歳～59歳の男女1,000名（全回答者）に、年間走行距離を聞いたところ、「3,000km超5,000km以下」（24.2%）や「5,000km超7,000km以下」（21.8%）との回答が多くなり、年間走行距離の平均は6,972kmでした。

年代別にみると、年間走行距離の平均は30代（7,338km）が最も長くなりました。（図1）

過去の調査結果と比較すると、年間走行距離の平均は2020年6,017km、2021年6,186km、2022年6,727km、2023年6,791km、2024年6,972kmと、2021年以来、緩やかな増加傾向が継続していることがわかりました。（図2）

次に、車の維持費や負担感について質問しました。

1ヵ月あたりの車の維持費（※1）を聞いたところ、「5,000円～10,000円未満」（30.5%）との回答が多くなり、維持費の平均は13,900円（※2）でした。

主に運転している車のボディタイプ別にみると、維持費の平均が最も低くなったのは軽自動車（10,700円）、最も高くなったのはセダン（17,900円）でした（※3）。（図3）

過去の調査結果と比較すると、維持費の平均は2020年10,900円、2021年11,700円、2022年12,800円、2023年13,500円、2024年13,900円と、4年連続で増加しました。（図4）

（※1）：保険料、ガソリン代・燃料代、駐車場代、修理代等のことで、税金、ローン返済、有料道路通行料は除く。

（※2）：100円未満は四捨五入

（※3）：オープン・クーペは参考値のため分析対象から除外

また、車の諸経費で負担に感じるものを聞いたところ、「ガソリン代・燃料代」（68.4%）が最も多くなり、「自動車税」（62.1%）、「車検・点検費」（59.4%）、「自動車保険料」（46.2%）、「駐車場代」（19.9%）が続きました。

居住地別（※4）にみると、「駐車場代」は都市部では35.8%と、地方（16.6%）に比べて19.2ポイント高くなりました。（図5）

過去の調査結果と比較すると、「ガソリン代・燃料代」は2022年68.1%、2023年66.4%、2024年68.4%と、3年連続で7割近くとなりました。原油価格高騰や円安による輸入価格上昇の影響で、ガソリン価格は高止まりの状態が続いているため、負担感を持っている方が多いのではないのでしょうか。（図6）

（※4）：市・区における人口ランキングの上位都市である、北海道札幌市、東京都23区、神奈川県横浜市、愛知県名古屋市、京都府京都市、大阪府大阪市、兵庫県神戸市、福岡県福岡市を「都市部」とし、それ以外を「地方」とした。

◆ガソリン代・燃料代の節約方法TOP3 「セルフ式ガソリンスタンドで給油する」「急発進・急停車をしない」「適度にエンジンオイルを交換する」

全回答者1,000名に、ガソリン代・燃料代を節約するために行っていることを聞いたところ、「セルフ式ガソリンスタンドで給油する」（37.2%）が最も多くなり、「急発進・急停車をしない」（32.4%）、「適度にエンジンオイルを交換する」（31.3%）、「速度を出しすぎない」（25.4%）、「定期的にタイヤの空気圧を点検する」（24.4%）が続きました。給油方法や運転方法、適切なメンテナンスによって節約している方が多いようです。（図7）

【今乗っている車・次に購入したい車】

◆今乗っている車 1位「軽自動車」、2位「コンパクトカー」、3位「ミニバン」

10代・20代女性では「軽自動車」が半数以上

◆今乗っている車のエンジン・モーターのタイプ 「ハイブリッド自動車」が4人に1人

全回答者 1,000 名に、主に運転している車のボディタイプを聞いたところ、「軽自動車」(35.0%) が最も多くなり、「コンパクトカー」(17.2%)、「ミニバン」(16.4%)、「SUV・クロカン」(12.9%)、「セダン」(9.6%) が続きました。

男女別にみると、女性では「軽自動車」が 47.4%と、男性(22.6%)と比べて 24.8 ポイント高く、男性の 2 倍以上となりました。男女・年代別にみると、10 代・20 代女性では「軽自動車」(55.2%) が半数以上でした。また、30 代男性、40 代男性では「ミニバン」(順に 24.8%、28.0%) が最も多くなりました。(図 8)

主に運転している車のエンジン・モーターのタイプを聞いたところ、「ガソリン自動車」(64.6%) が最も多くなり、「ハイブリッド自動車(HV)」(24.8%)、「クリーンディーゼル自動車(CDV)」(3.1%)、「プラグインハイブリッド自動車(PHV)」(2.5%)、「電気自動車(EV)」(1.2%) が続きました。

過去の調査結果と比較すると、「ハイブリッド自動車(HV)」は 2023 年 19.0%、2024 年 24.8%と 5.8 ポイント上昇しました。ハイブリッドシステムを採用する車種の増加の影響がうかがえます。(図 9)

◆次に車を買替える時に購入したい車 1 位「N-BOX (ホンダ)」、2 位「プリウス (トヨタ)」、 「ルーミー (トヨタ)」が大幅上昇し 3 位に

全回答者 1,000 名に、次に買替える時に購入したい車について質問しました。

購入したい車のエンジン・モーターのタイプについて、回答をみると、「ガソリン自動車」(39.5%) が最も多くなり、「ハイブリッド自動車(HV)」(38.7%)、「プラグインハイブリッド自動車(PHV)」(8.0%)、「電気自動車(EV)」(7.5%)、「クリーンディーゼル自動車(CDV)」(5.5%) が続きました(※5)。(図 10)

(※5)：購入したい車のエンジン・モーターのタイプを考えている方(=「わからない」と回答した方を除いた 750 名)が集計対象

最も購入したいと思う車(車種)を聞いたところ、1 位「N-BOX (ホンダ)」(4.4%)、2 位「プリウス (トヨタ)」(4.1%)、3 位「アクア (トヨタ)」「ルーミー (トヨタ)」(いずれも 3.2%)、5 位「アルファード (トヨタ)」「ノア (トヨタ)」(いずれも 2.9%) となりました(※6)。

男女別にみると、男性では 1 位「プリウス (トヨタ)」(5.1%)、2 位「アルファード (トヨタ)」(4.1%)、3 位「ハリアー (トヨタ)」(3.9%)、4 位「アクア (トヨタ)」(3.7%)、5 位「ノア (トヨタ)」(3.0%)、女性では 1 位「N-BOX (ホンダ)」(6.4%)、2 位「ルーミー (トヨタ)」(5.1%)、3 位「タント (ダイハツ)」「ムーヴ キャンパス (ダイハツ)」(いずれも 4.1%)、5 位「プリウス (トヨタ)」(3.1%) となりました。

過去の調査結果と比較すると、昨年 18 位だった「ルーミー (トヨタ)」が大幅上昇し 3 位となったほか、昨年 2 位だった「N-BOX (ホンダ)」が 1 位、5 位だった「アクア (トヨタ)」が 3 位、12 位だった「ノア (トヨタ)」が 5 位、10 位だった「タント (ダイハツ)」が 8 位とそれぞれ上昇しました。(図 11, 12, 13)

(※6)：最も購入したい車のメーカー・ブランドが決まっている方 824 名が集計対象

【自動車事故に関する意識】

◆車を運転していて恐怖を感じること 1 位「あおり運転による事故」、 2 位「高齢者・高齢運転者との事故」、3 位「ブレーキとアクセルの踏み間違いによる事故」

全回答者 1,000 名に、車を運転していて最近恐怖を感じること(体験したことに限らず、ニュースなどで知ったことを含む)は何かを聞いたところ、1 位「あおり運転による事故」(46.3%)、2 位「高齢者・高齢運転者との事故」(46.0%)、3 位「ブレーキとアクセルの踏み間違いによる事故」(45.9%)、4 位「飲酒運転による事故」(36.0%)、5 位「逆走車との事故」(35.3%) となりました。

昨年の調査結果と比較すると、「ブレーキとアクセルの踏み間違いによる事故」は昨年 4 位から順位を 1 つ上げ 3 位に、「飲酒運転による事故」は昨年 6 位から順位を 2 つ上げ 4 位になりました。ブ

レーキとアクセルの踏み間違いや飲酒運転は、重大な事故の原因としてニュースなどで見聞きする機会が多いためか、恐怖心を抱く方が増えているようです。（図 14）

【自然災害による車への損害に関する意識・経験】

◆「自然災害によって車に損害が生じたことがある」22.3%

車に損害が生じた自然災害 1位「台風」、2位「大雨・ゲリラ豪雨」、3位「洪水」「大雪」

全回答者 1,000 名に、これまでに、自然災害によって車に損害が生じたことがあるかを聞いたところ、「ある」は 22.3%、「ない」は 77.7%となりました。（図 15）

自然災害によって車に損害が生じたことがある方 223 名に、車に損害が生じた自然災害を聞いたところ、「台風」（42.2%）が最も多くなり、「大雨・ゲリラ豪雨」（37.2%）、「洪水」「大雪」（いずれも 17.5%）、「ひょう」（17.0%）が続きました。（図 16）

◆「車を自然災害から守るための対策を講じている」22.9%

全回答者 1,000 名に、車を自然災害から守るための対策を講じているかを聞いたところ、「講じている」は 22.9%、「講じていない」は 77.1%となりました。（図 17）

車を自然災害から守るための対策を講じている方 229 名に、車を守るための対策を講じている自然災害を聞いたところ、「台風」（38.0%）が最も多くなり、「大雨・ゲリラ豪雨」（37.1%）、「洪水」「大雪」（いずれも 20.1%）、「ひょう」（14.4%）が続きました。（図 18）

◆走行している道路の前方が冠水していて深さがわからない場合の行動

「進入せずにすぐに引き返す」60.6%、10代・20代では「わからない」が18.0%

近年、台風や大雨・ゲリラ豪雨などによる道路の冠水が多く発生しています。車で走行中、前方の道路が冠水していた際の行動について聞きました。

全回答者 1,000 名に、走行している道路の前方が冠水しており、冠水部分がどのくらいの深さかわからない場合どうするかを聞いたところ、「進入せずにすぐに引き返す」（60.6%）が最も多くなり、「停止して様子を見る」（17.8%）、「ゆっくり進入する」（8.0%）、「スピードを上げて進入する」（2.4%）が続きました。また、「わからない」は 11.2%でした。

年代別にみると、10代・20代では「停止して様子を見る」が 20.8%と 5 人に 1 人の割合となり、「わからない」が 18.0%と他の年代と比べて多くなりました。（図 19）

自動車が冠水した道路を走行する場合、水深が車両の床面を超えると、エンジン、電気装置等に不具合が発生するおそれがあります。また、水深がドアの高さの半分を超えると、ドアを内側からほぼ開けられなくなります。危険を回避するために、道路が冠水していて深さがわからない場合は、進入せずに引き返すことが大切です（※7）。

（※7）：国土交通省『水深が床面を超えたら、もう危険！— 自動車が冠水した道路を走行する場合に発生する不具合について—』 https://www.mlit.go.jp/report/press/jidosha08_hh_003565.html

【交通規則違反に関する認知】

◆交通規則違反だと知っていたもの 「信号待ちのタイミングで運転手を交代する」26.0%

全回答者 1,000 名に、交通規則違反に該当する行為を提示し、そのなかで交通規則違反だと知っていたものを聞いたところ、「信号機のない横断歩道を渡ろうとしている歩行者がいても一時停止しない」（61.4%）が最も多くなりました。道路交通法第 38 条により、ドライバーは、横断歩道を横断しようとしている歩行者がいる場合、一時停止して通行を妨げないよう義務付けられています。このことを認知している方が多いようです。次いで多くなったのは、「むやみにクラクションを鳴らす」（58.7%）、「緊急車両が接近してきても道を譲らない」（58.4%）、「6 歳未満の幼児を同乗者に抱っこ

してもらって運転する」(56.2%)、「スマホのカーナビアプリを操作しながら運転する」(55.6%)でした。

他方、「エンジンをかけっぱなしで車を離れる」(27.1%)、「信号待ちのタイミングで運転手を交代する」(26.0%)はいずれも3割未満にとどまりました。エンジンをかけたまま車を離れる行為は“停止措置義務違反”に該当します。また、信号待ちの際に交差点や横断歩道の手前で車を降りて運転手を交代する行為は、道路交通法第44条に定められた駐停車禁止場所に停車をするかたちとなり、“駐停車違反”に該当します。これらの違反については知らない方が多いようです。(図20)

【安全運転支援機能／ドライブレコーダー選び】

◆安全運転支援機能の搭載状況

「ドライブレコーダー」の搭載率は51.9%

「定速走行・車間距離制御装置/ACC」の搭載率は31.6%、昨年調査から3.4ポイント上昇

◆ドライブレコーダー選びで重視した点 1位「価格」、2位「画質が良い」

◆今乗っている車に付いているドライブレコーダーの価格 平均は26,576円

全回答者1,000名に、安全運転を支援する機能や装置の搭載状況を聞きました。

搭載率（「すでに付いている」と回答した方の割合）をみると、【ドライブレコーダー（車両の走行状態や事故状況を録画する装置）】は51.9%、【車線逸脱防止支援システム（車両のふらつきや車線からはみだしをお知らせする機能）】は41.4%、【自動ブレーキ（衝突被害軽減ブレーキ）】は37.7%、【定速走行・車間距離制御装置/ACC（アダプティブクルーズコントロール）】は31.6%、【死角検知機能（自車の斜め後方など、死角に車がいたらお知らせする機能）】は22.6%、【歩行者用エアバッグ（歩行者と衝突時に作動する歩行者用の衝撃緩和装置）】は12.3%でした。(図21)

昨年の調査結果と比較すると、【ドライブレコーダー】の搭載率は2023年52.5%、2024年51.9%と昨年に続き半数以上となりました。また、【定速走行・車間距離制御装置/ACC】の搭載率は2023年28.2%、2024年31.6%と3.4ポイント上昇しました。ドライバーの疲労軽減につながるACCを車に搭載するドライバーが増えているようです。(図22)

自分が運転する車にドライブレコーダーを付けている方519名に、ドライブレコーダーを選ぶ際に重視した点を聞いたところ、1位「価格」(49.9%)、2位「画質が良い」(38.3%)、3位「全方位の映像を記録できる」(25.2%)、4位「前後の映像を記録できる」(25.0%)、5位「夜間でも映像を記録できる」(22.7%)となりました。(図23)

また、購入したドライブレコーダーを付けている方396名に、主に運転している車に付いているドライブレコーダーの価格を聞いたところ、「10,000円～20,000円未満」(11.6%)や「20,000円～30,000円未満」(15.7%)、「30,000円～40,000円未満」(11.4%)との回答が多くなり、平均（「覚えていない・わからない」と回答した方を除く）は26,576円でした。(図24)

【カーライフ×エンタメ】

◆交通安全運動のPRのために一日警察署長をやってほしいと思う芸能人

男性芸能人1位「明石家さんまさん」「目黒蓮さん」、3位「なかやまきんに君」、

女性芸能人1位「橋本環奈さん」、2位「綾瀬はるかさん」、3位「天海祐希さん」

◆交通安全運動のPRのために一日警察署長をやってほしいと思うアスリート

男性アスリートでは「大谷翔平さん」がダントツ、2位「石川祐希さん」「イチローさん」、

女性アスリート1位「吉田沙保里さん」、2位「浅田真央さん」、3位「石川佳純さん」

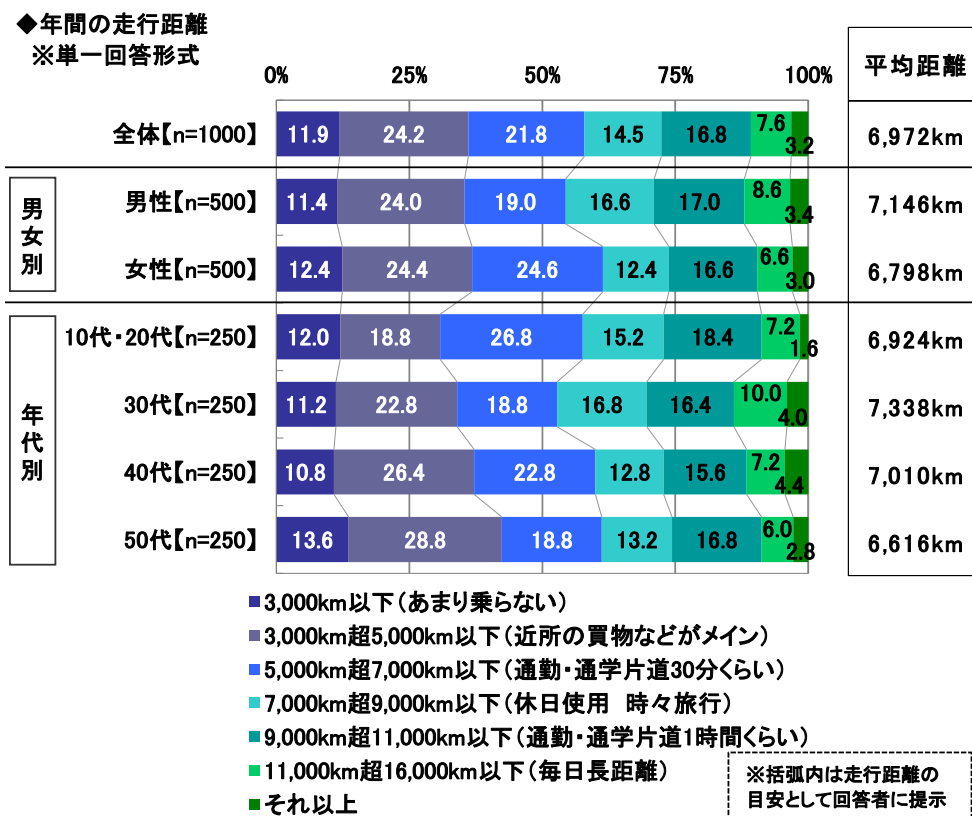
最後に、全回答者1,000名に、“交通安全”をテーマに、イメージに合う芸能人やアスリートについて質問しました。

交通安全運動のPRのために一日警察署長をやってほしいと思う芸能人を聞いたところ、男性芸能人では、1位「明石家さんまさん」「目黒蓮さん」（いずれも24名）、3位「なかやまきんに君」(22

名)、4位「大泉洋さん」(21名)、5位「木村拓哉さん」(18名)となりました。他方、女性芸能人では、1位「橋本環奈さん」(40名)、2位「綾瀬はるかさん」(32名)、3位「天海祐希さん」(22名)、4位「広瀬すずさん」(21名)、5位「有村架純さん」(17名)となりました。(図25)

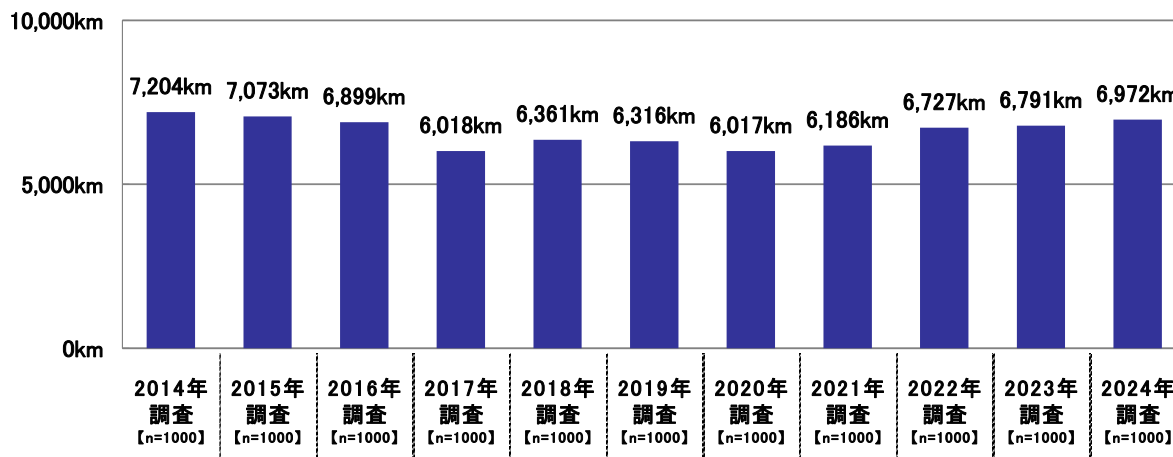
交通安全運動のPRのために一日警察署長をやってほしいと思うアスリート(引退した人を含む)を聞いたところ、男性アスリートでは、「大谷翔平さん」(230名)がダントツとなり、2位「石川祐希さん」「イチローさん」(いずれも16名)、4位「羽生結弦さん」(14名)、5位「阿部一二三さん」(11名)となりました。他方、女性アスリートでは、1位「吉田沙保里さん」(58名)、2位「浅田真央さん」(43名)、3位「石川佳純さん」(32名)、4位「古賀紗理那さん」(30名)、5位「洪野日向子さん」(14名)となりました。(図26)

(図 1)



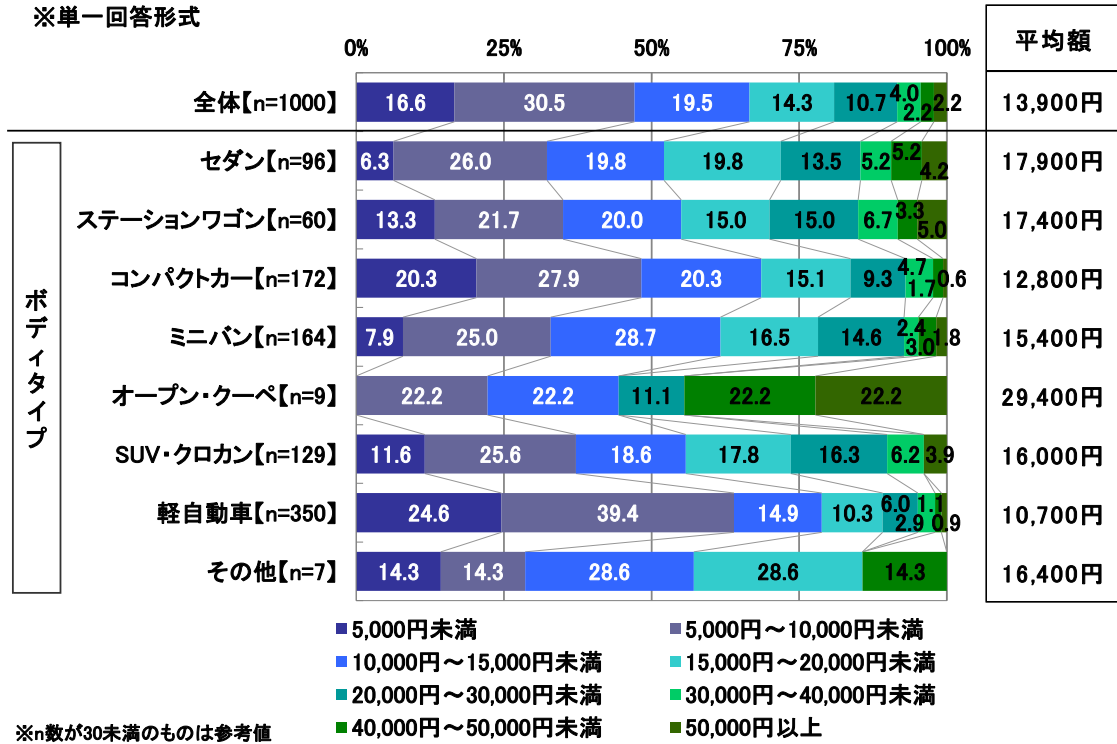
(図 2)

◆年間の走行距離の平均【2014年～2024年:経年比較】
※単一回答結果より抜粋



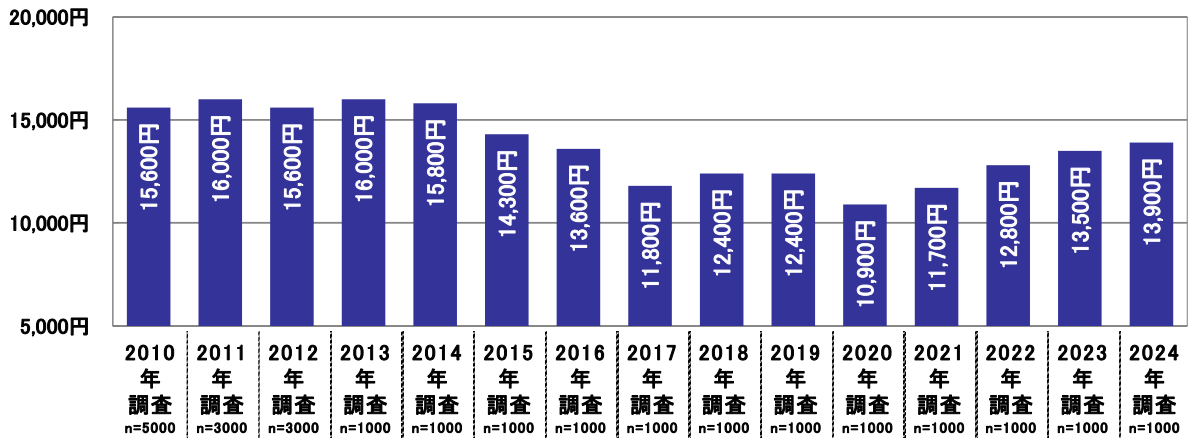
(図 3)

◆1か月あたりの車の維持費
※単一回答形式



(図 4)

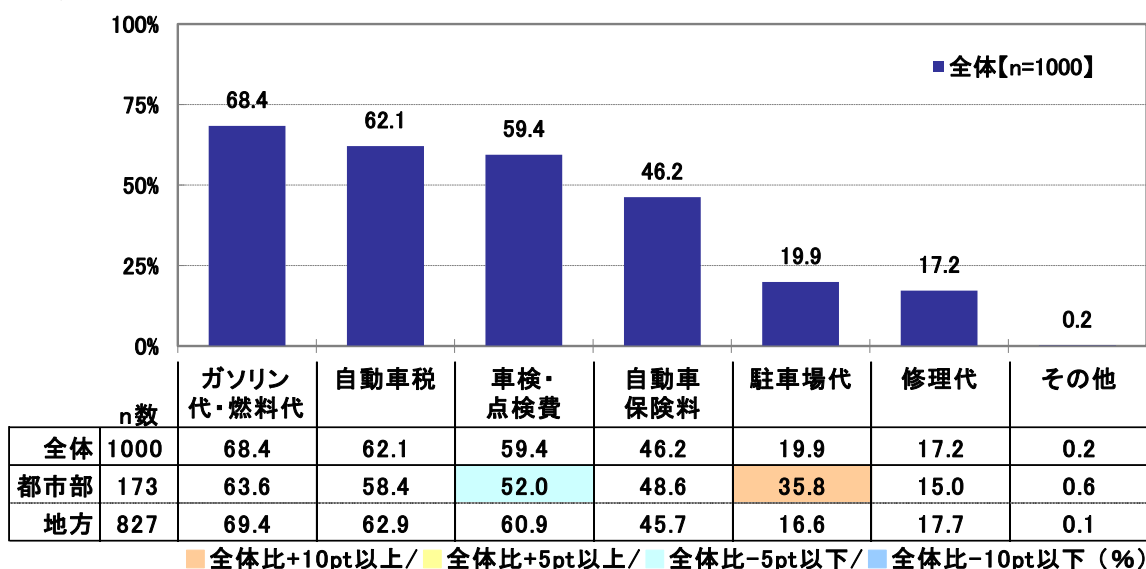
◆1か月あたりの車の維持費の平均額
【2010年～2024年：経年比較】
※単一回答結果より抜粋



(図 5)

◆車の諸経費で負担に感じるもの

※複数回答形式

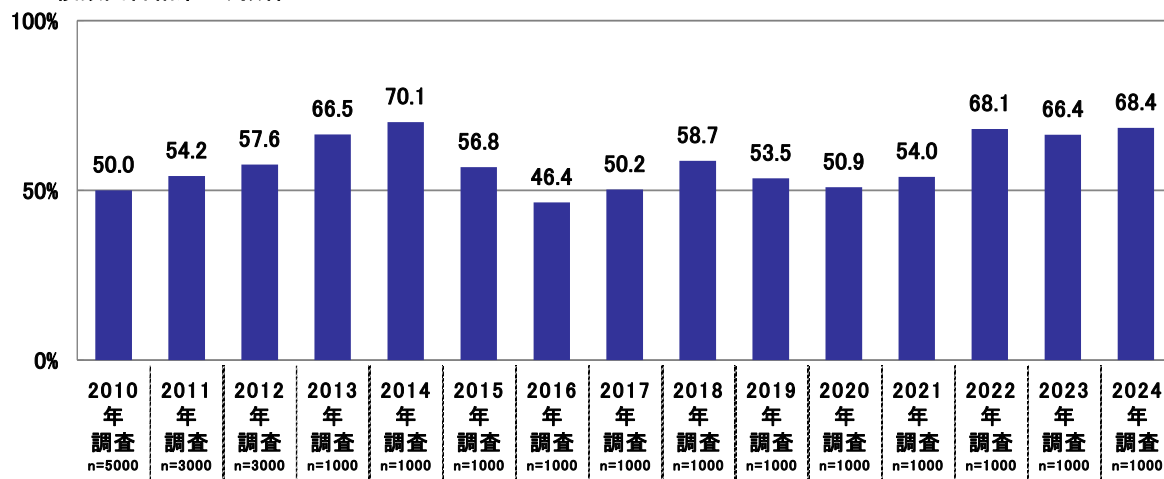


(図 6)

◆「ガソリン代・燃料代」を負担に感じる人の割合

【2010年～2024年：経年比較】

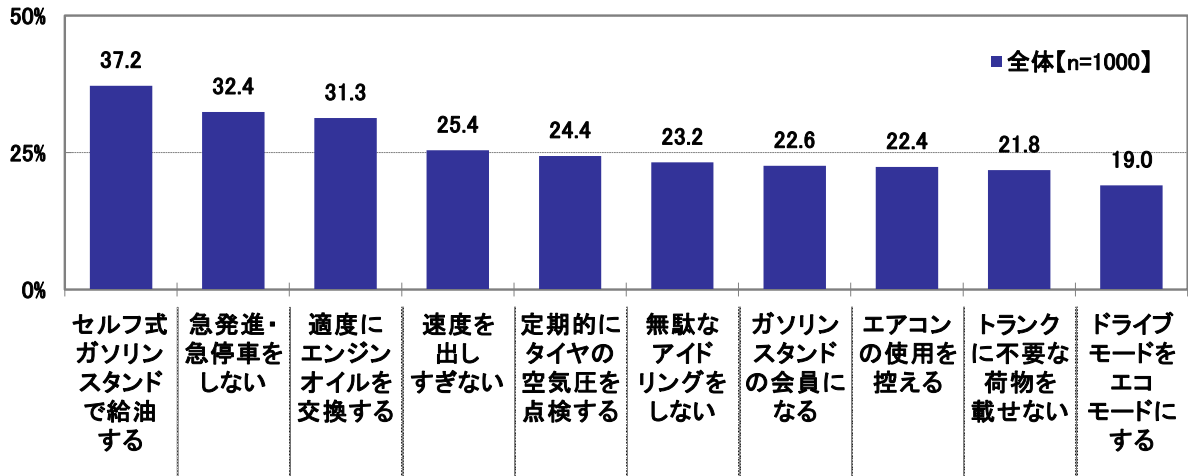
※複数回答結果より抜粋



(図 7)

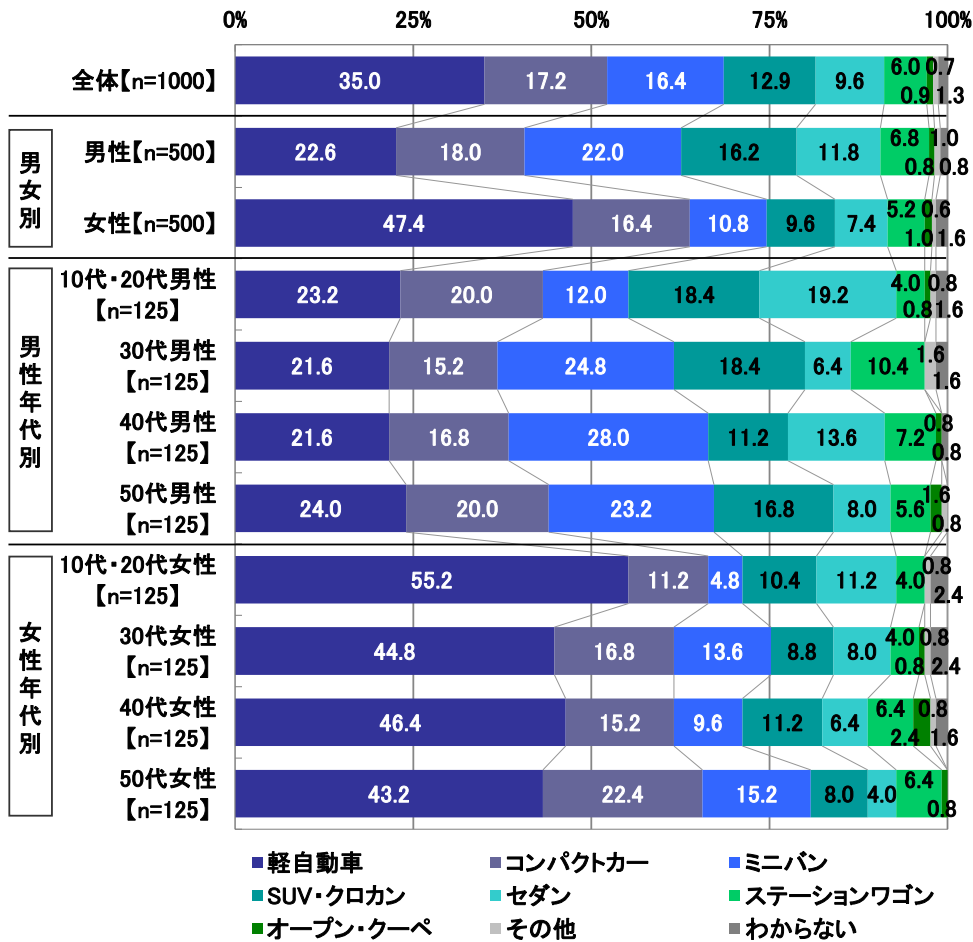
◆ガソリン代・燃料代を節約するために行っていること
※複数回答形式

※上位10位まで抜粋



(図 8)

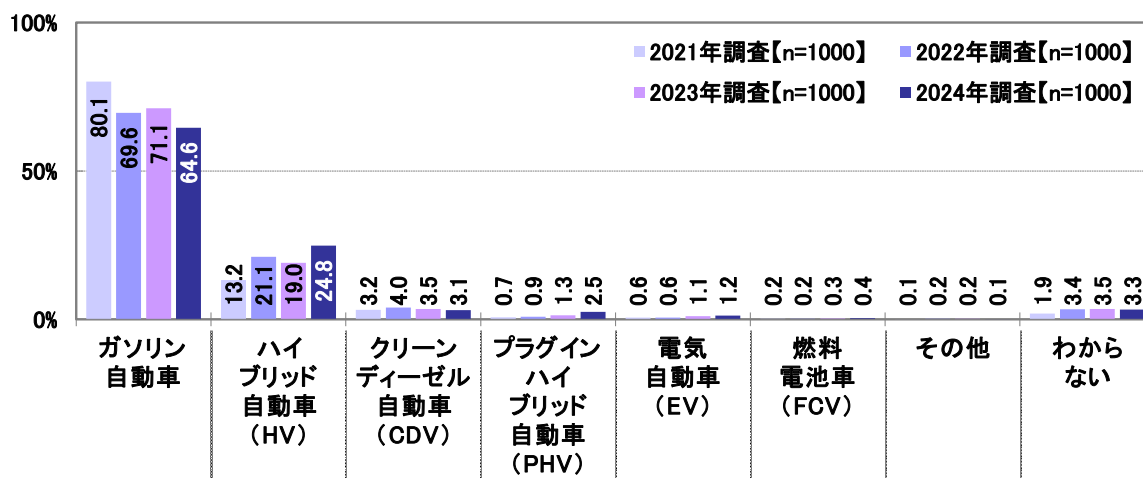
◆主に運転している車のボディタイプ
※単一回答形式



(図 9)

◆主に運転している車のエンジン・モーターのタイプ【2021年～2024年：経年比較】

※単一回答形式

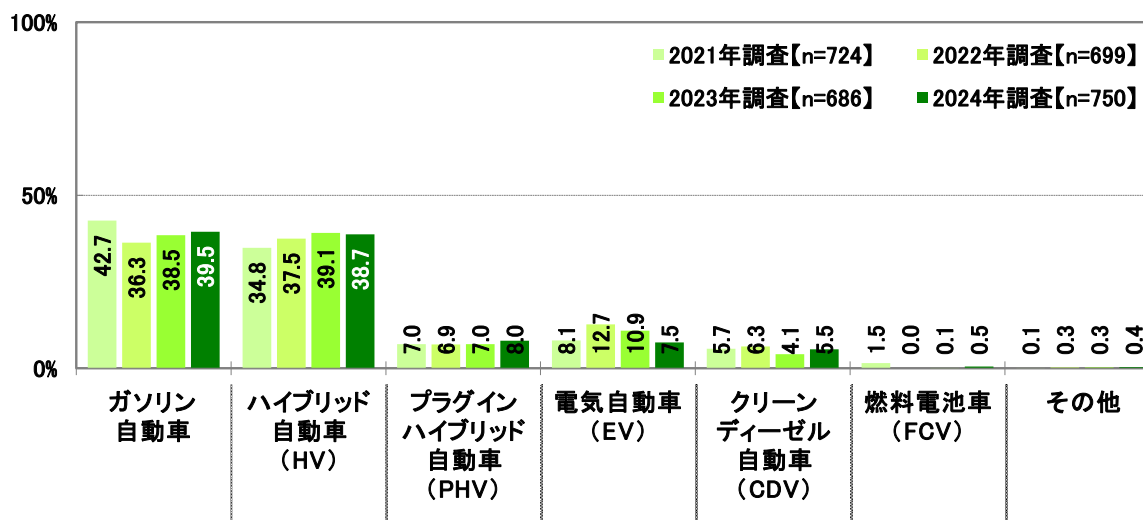


(図 10)

◆次に車を買替える時に購入したい車のエンジン・モーターのタイプ【2021年～2024年：経年比較】

※単一回答形式

対象：購入したい車のエンジン・モーターのタイプを考えている人



(図 11)

◆次に車を買替える時に最も購入したい車 ※単一回答形式
 対象：次に車を買替える時に最も購入したい車のメーカー・ブランドが決まっている人

全体【n=824】		%
1位	N-BOX(ホンダ)	4.4
2位	プリウス(トヨタ)	4.1
3位	アクア(トヨタ)	3.2
	ルーミー(トヨタ)	3.2
5位	アルファード(トヨタ)	2.9
	ノア(トヨタ)	2.9
7位	ヴォクシー(トヨタ)	2.7
8位	タント(ダイハツ)	2.4
9位	ハリアー(トヨタ)	2.3
10位	シエンタ(トヨタ)	2.2

※上位10位まで抜粋

(図 12)

◆【過去調査】次に車を買替える時に最も購入したい車 ※単一回答形式
 対象：次に車を買替える時に最も購入したい車のメーカー・ブランドが決まっている人

<2023年調査>			<2022年調査>		
全体【n=827】		%	全体【n=823】		%
1位	プリウス(トヨタ)	4.6	1位	N-BOX(ホンダ)	4.3
2位	N-BOX(ホンダ)	4.1	2位	アクア(トヨタ)	3.6
3位	アルファード(トヨタ)	3.4	3位	アルファード(トヨタ)	3.5
4位	ヴォクシー(トヨタ)	2.9	4位	ヴォクシー(トヨタ)	3.3
5位	アクア(トヨタ)	2.8	5位	ハリアー(トヨタ)	2.8
	シエンタ(トヨタ)	2.8		タント(ダイハツ)	2.8
		セレナ(日産)	2.8	7位	プリウス(トヨタ)
8位	ハリアー(トヨタ)	2.7		フリード(ホンダ)	2.2
	フリード(ホンダ)	2.7	9位	ルーミー(トヨタ)	2.1
10位	タント(ダイハツ)	2.5	10位	ステップ ワゴン(ホンダ)	1.8

※上位10位まで抜粋

(図 13)

◆【男女別】次に車を買替える時に最も購入したい車 ※単一回答形式
 対象：次に車を買替える時に最も購入したい車のメーカー・ブランドが決まっている人

男性【n=434】			女性【n=390】		
順位	車種	%	順位	車種	%
1位	プリウス(トヨタ)	5.1	1位	N-BOX(ホンダ)	6.4
2位	アルファード(トヨタ)	4.1	2位	ルーミー(トヨタ)	5.1
3位	ハリアー(トヨタ)	3.9	3位	タント(ダイハツ)	4.1
4位	アクア(トヨタ)	3.7		ムーヴ キャンパス(ダイハツ)	4.1
5位	ノア(トヨタ)	3.0	5位	プリウス(トヨタ)	3.1
6位	ヴォクシー(トヨタ)	2.8	6位	ノア(トヨタ)	2.8
7位	N-BOX(ホンダ)	2.5	7位	アクア(トヨタ)	2.6
	ヴェルファイア(トヨタ)	2.5		ヴォクシー(トヨタ)	2.6
9位	シエンタ(トヨタ)	2.3	9位	ヴェゼル(ホンダ)	2.1
10位	ノート(日産)	2.1		シエンタ(トヨタ)	2.1
	ヤリス クロス(トヨタ)	2.1		RAV4(トヨタ)	2.1

※各上位10位まで抜粋

(図 14)

◆車を運転していて最近恐怖を感じる事

※体験したことに限らず、ニュースなどで知ったことを含む

※複数回答形式

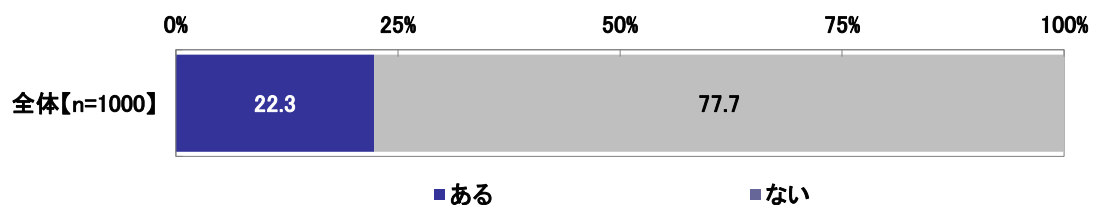
	0%	25%	50%	75%	順位	昨年 順位
あおり運転による事故			46.3		1位 (→)	1位
高齢者・高齢運転者との事故			46.0		2位 (→)	2位
ブレーキとアクセルの 踏み間違いによる事故			45.9		3位 (↑1)	4位
飲酒運転による事故			36.0		4位 (↑2)	6位
逆走車との事故			35.3		5位 (→)	5位
居眠り運転による事故			35.2		6位 (↑1)	7位
スマホ・携帯電話の ながら運転による事故			34.3		7位 (↓4)	3位
危険運転をする自転車 (傘さし運転など)との事故			27.8		8位 (→)	8位
スピード違反による事故			21.6		9位 (→)	9位
運転中の自然災害(ゲリラ 豪雨・台風など)との遭遇			21.1		10位 (→)	10位

■全体【n=1000】

※上位10位まで抜粋

(図 15)

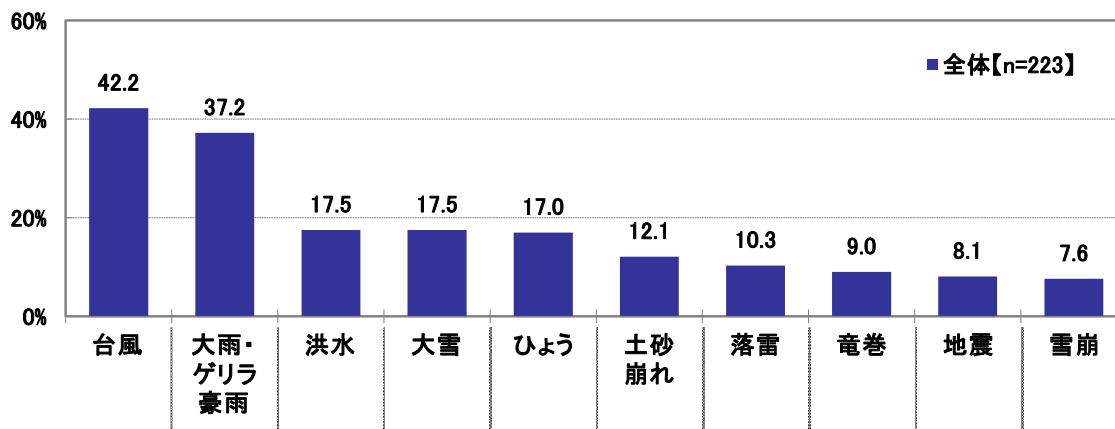
◆これまでに、自然災害によって車に損害が生じたことがあるか



(図 16)

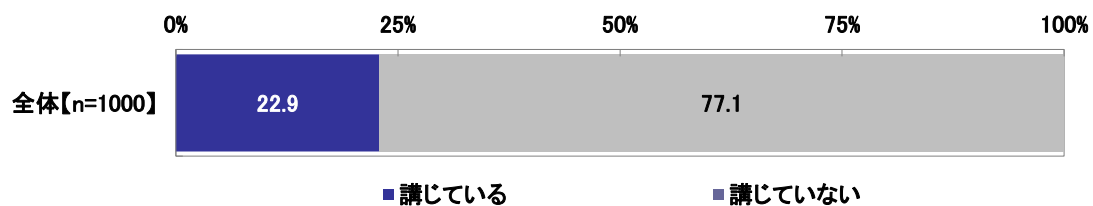
◆車に損害が生じた自然災害 ※複数回答形式

対象: 自然災害によって車に損害が生じたことがある人



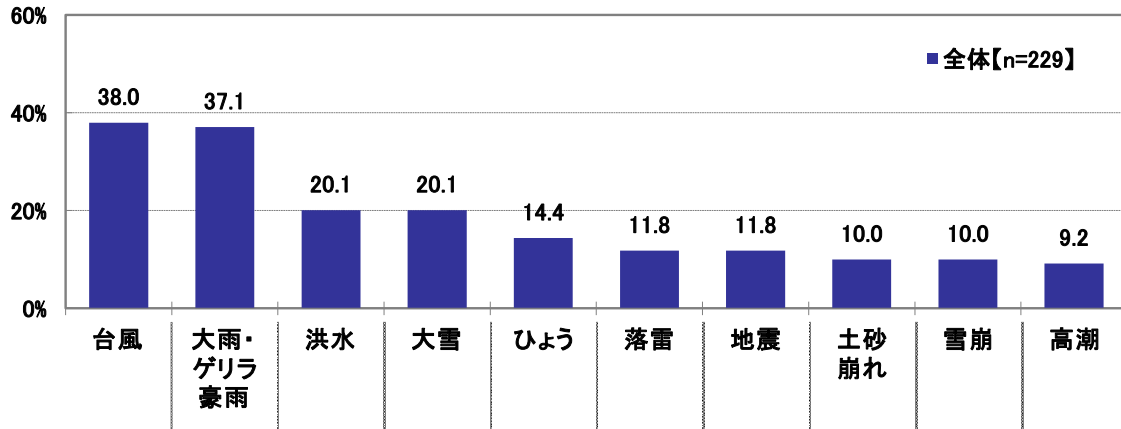
(図 17)

◆車を自然災害から守るための対策を講じているか



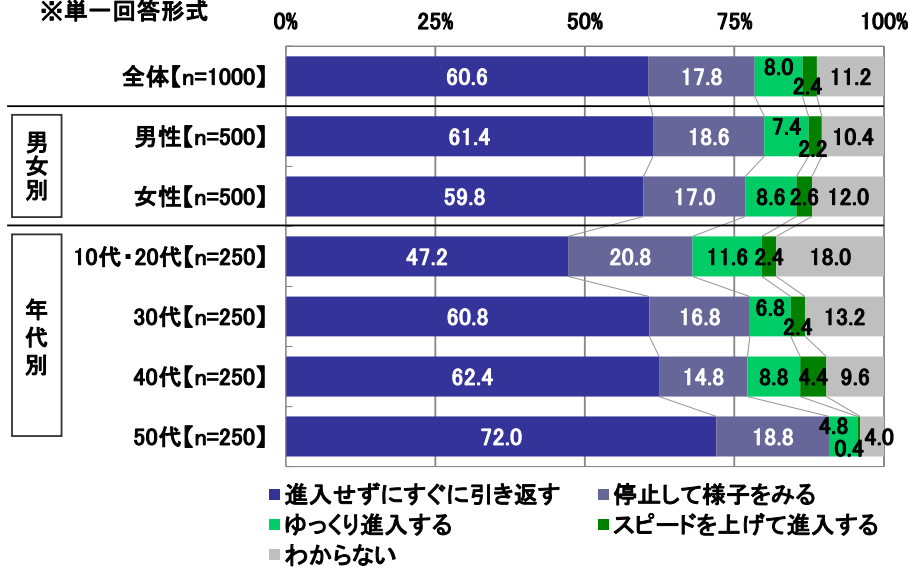
(図 18)

◆車を守るための対策を講じている自然災害 ※複数回答形式
 対象: 車を自然災害から守るための対策を講じている人



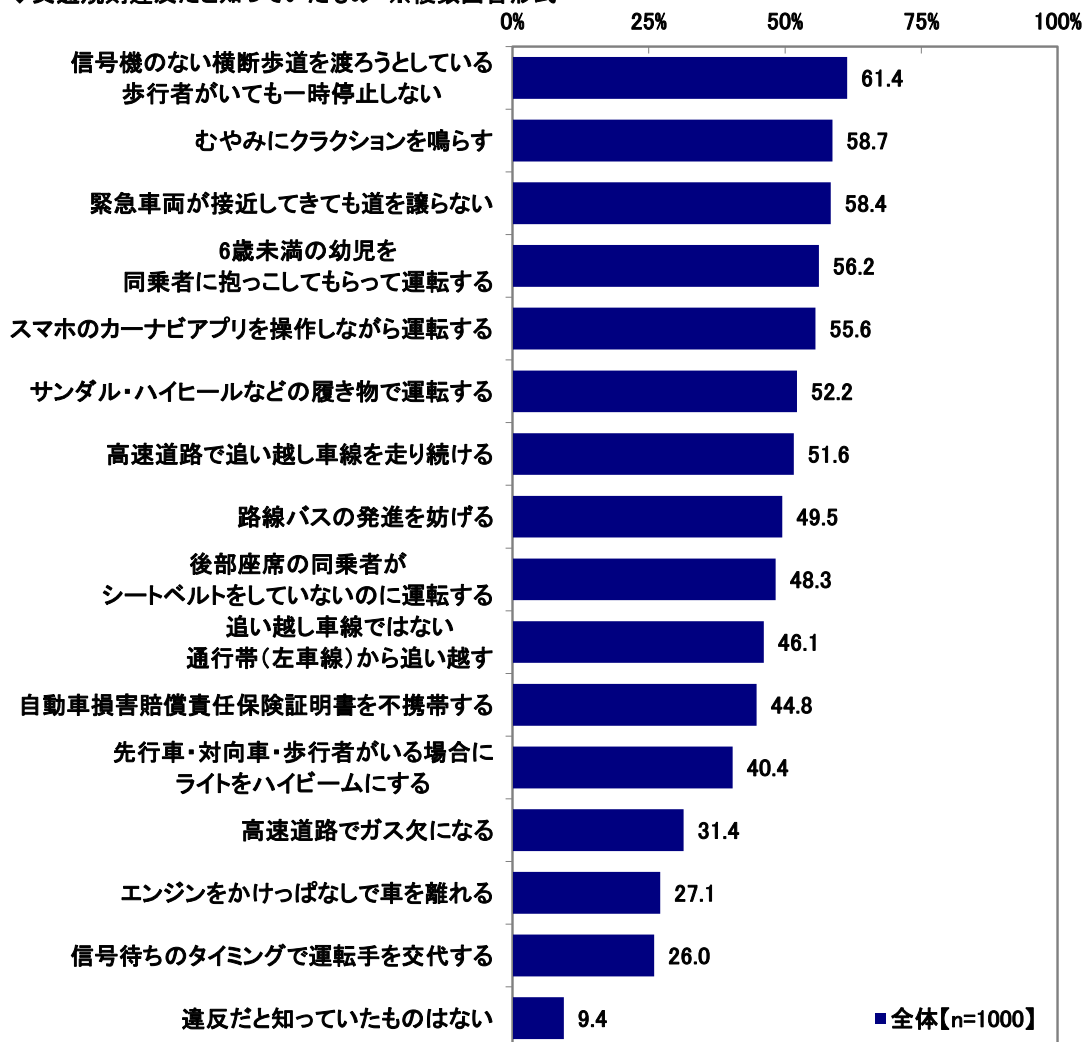
(図 19)

◆走行している道路の前方が冠水しており、冠水部分がどのくらいの深さかわからない場合どうするか
 ※単一回答形式



(図 20)

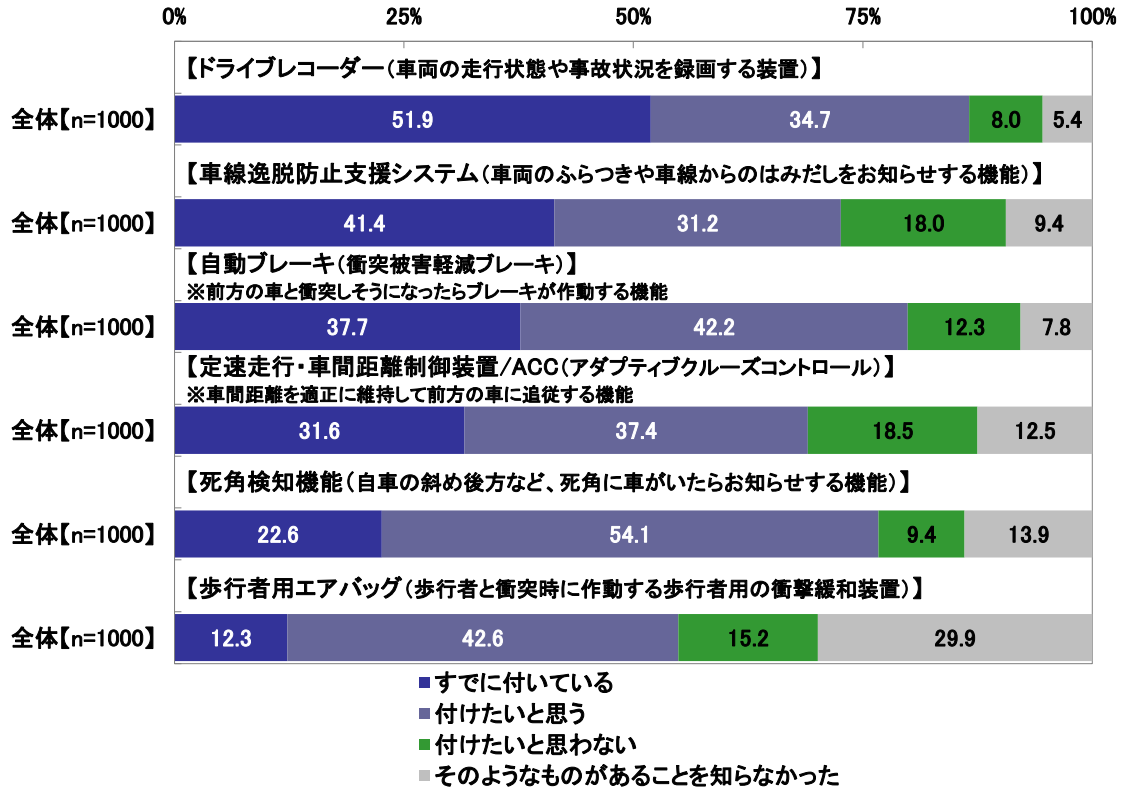
◆交通規則違反だと知っていたもの ※複数回答形式



(図 21)

◆安全運転を支援する機能や装置を主に運転している車に付けているか、
付けていない場合は付けたいか

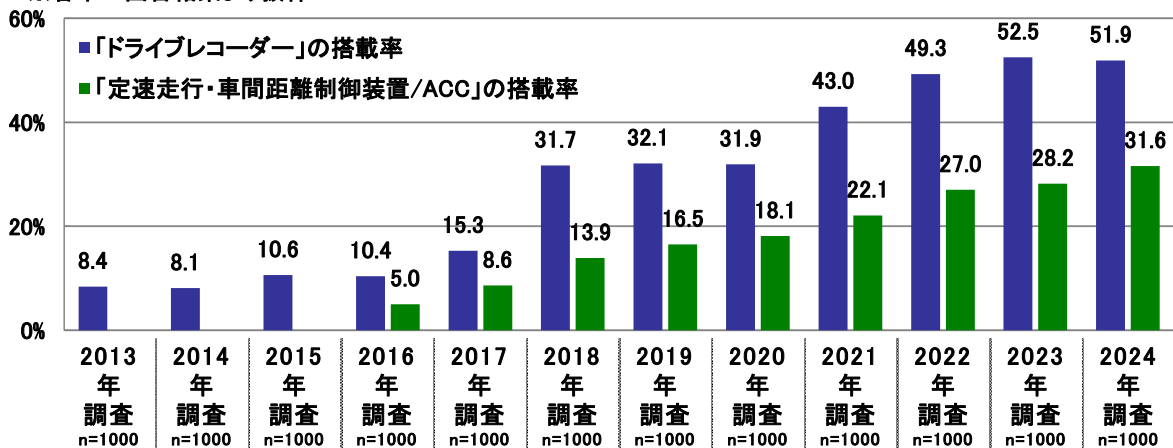
※各単一回答形式



(図 22)

◆「ドライブレコーダー」「定速走行・車間距離制御装置/ACC」の搭載率
【2013年～2024年:経年比較】

※各単一回答結果より抜粋

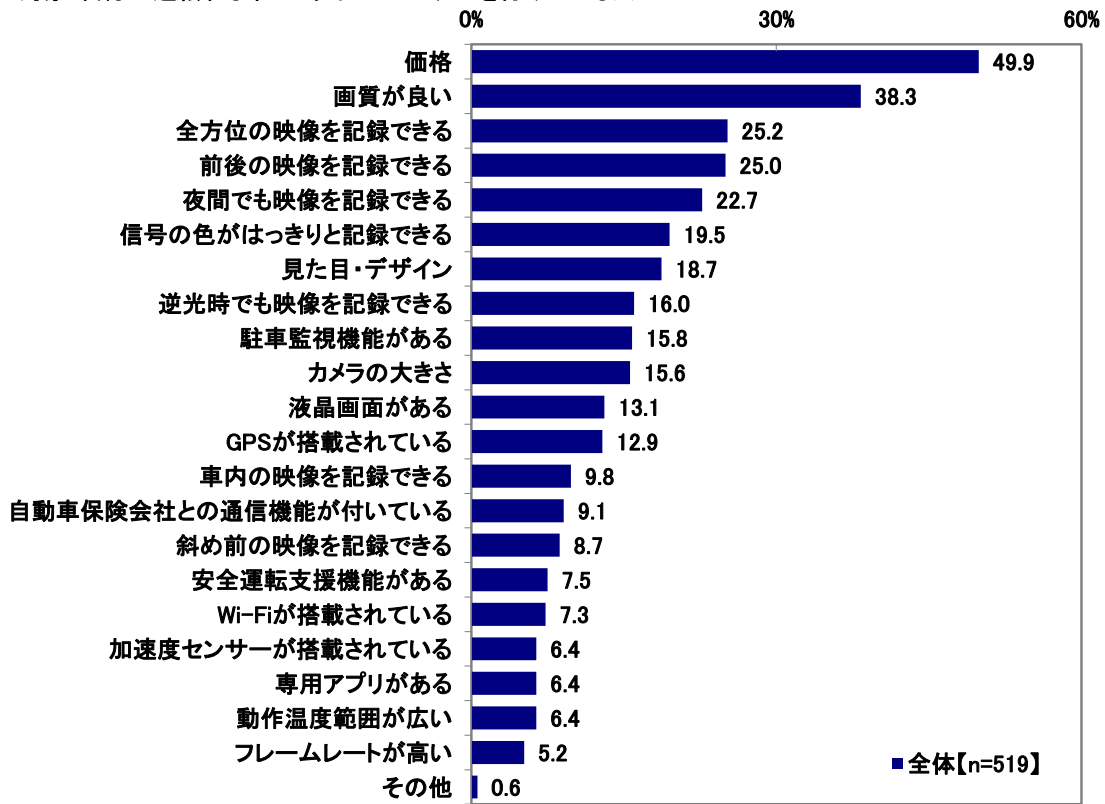


※2015年調査までは搭載状況と予定(「搭載している」「搭載予定」「搭載するつもりはない」「以前搭載していたが今は搭載していない」)から選択する形式で聴取、2016年以降は搭載状況と搭載意向、認知状況(「すでに付いている」「付けたいと思う」「付けたいと思わない」「そのようなものがあることを知らなかった」)から選択する形式で聴取している。

※「定速走行・車間距離制御装置/ACC」は、2015年までは非聴取、2016年は「車間距離制御装置」として聴取

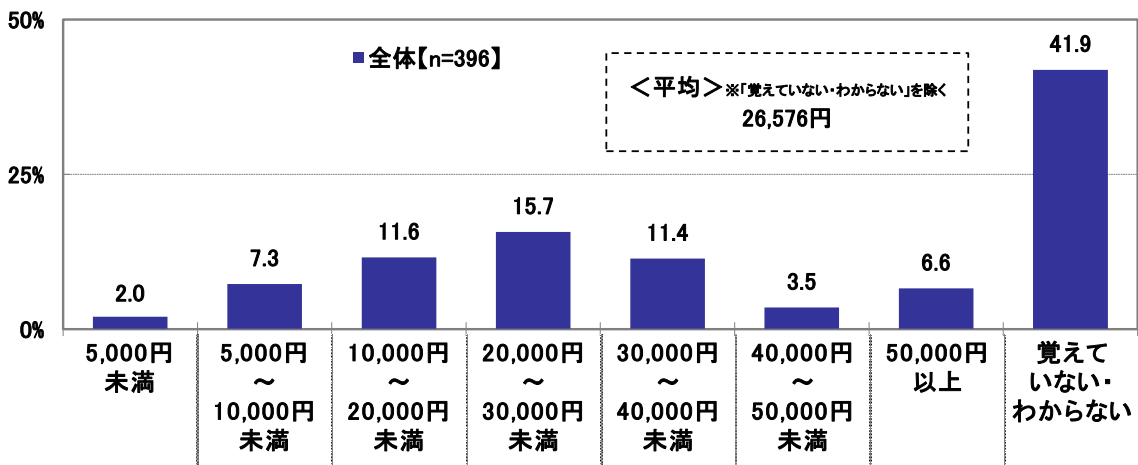
(図 23)

◆ドライブレコーダーを選ぶ際に重視した点 ※複数回答形式
対象: 自分が運転する車にドライブレコーダーを付けている人



(図 24)

◆主に運転している車に付いているドライブレコーダーの価格
※単一回答形式
対象: 自分が運転する車に、購入したドライブレコーダーを付けている人



(図 25)

◆交通安全運動のPRのために一日警察署長をやってほしいと思う芸能人 ※各自由回答形式全体【n=1000】

男性芸能人			女性芸能人		
順位	名	名	順位	名	名
1位	明石家さんま	24	1位	橋本環奈	40
	目黒蓮	24	2位	綾瀬はるか	32
3位	なかやまきんに君	22	3位	天海祐希	22
4位	大泉洋	21	4位	広瀬すず	21
5位	木村拓哉	18	5位	有村架純	17
6位	平野紫耀	11	6位	やす子	15
	吉沢亮	11	7位	石原さとみ	14
8位	反町隆史	10	8位	芦田愛菜	13
9位	山崎賢人	9	9位	今田美桜	12
	横浜流星	9		北川景子	12
				浜辺美波	12

※上位10位まで抜粋

(図 26)

◆交通安全運動のPRのために一日警察署長をやってほしいと思うアスリート ※各自由回答形式全体【n=1000】

男性アスリート			女性アスリート		
順位	名	名	順位	名	名
1位	大谷翔平	230	1位	吉田沙保里	58
2位	石川祐希	16	2位	浅田真央	43
	イチロー	16	3位	石川佳純	32
4位	羽生結弦	14	4位	古賀紗理那	30
5位	阿部一二三	11	5位	渋野日向子	14
6位	高橋藍	9	6位	阿部詩	13
	八村塁	9	7位	澤穂希	9
高橋大輔	7	高橋尚子		9	
8位	武井壮	7		本田真凜	9
	なかやまきんに君	7		馬瓜エブリン	9

※上位10位まで抜粋

注：ニュースレターの百分率表示は小数点第2位で四捨五入の丸め計算を行っているため、
内訳の計と合計が一致しない場合や、合計しても100%とならない場合があります。

◆調査概要◆

- ◆調査タイトル：2024年 全国カーライフ実態調査
- ◆調査対象：ネットエイジアリサーチのインターネットモニター会員を母集団とする
自家用車を所有し月に1回以上車を運転する18歳～59歳の男女
(10代・20代、30代、40代、50代、男女各125名)
- ◆調査期間：2024年7月12日～7月16日
- ◆調査方法：インターネット調査
- ◆調査地域：全国
- ◆有効回答数：1,000サンプル（有効回答から1,000サンプルを抽出）

- ◆実施機関：ネットエイジア株式会社

調査協力会社：ネットエイジア株式会社

■■会社概要■■

- 会社名：ソニー損害保険株式会社
- 代表者名：代表取締役社長 坪田博行
- 設立：1998年6月10日
(ソニーインシュアランスプランニング株式会社として設立)
- 所在地：東京都大田区蒲田 5-37-1 アロマスクエア 11F
- 事業内容：損害保険業

会社および商品の詳細は <https://www.sonysonpo.co.jp/> をご覧ください。

■■利用条件■■

本記事内の図解／文章とも自由に転載いただくことが可能ですが、下記の利用条件をすべて満たす場合に限りです。なお、当社がふさわしくないと判断した場合は、掲載の中止を求めることがあります。

《利用条件》

- 1 情報の出典元として「ソニー損害保険株式会社」の名前を明記してください。
- 2 ウェブサイトで使用する場合は、出典元として、ソニー損保の自動車保険トップページへリンクを設置してください。

<https://www.sonysonpo.co.jp/auto/>

■■本調査に関するお問合せ窓口■■

ソニー損害保険株式会社 コンテンツ企画部 坂江 耕平
03-5744-8742
sakae-k@sonysonpo.co.jp
9:30～18:00（土・日・休日を除く）